



芦北町立佐敷中学校 学校だより

けやき

校訓 協根自 同性主

令和7年4月28日発行

第8号

校長 中田 慎哉

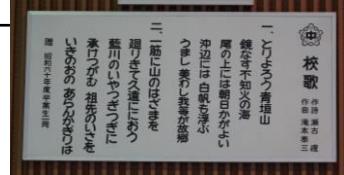
☆令和7年度学校教育目標

「夢実現に向け、佐中プライドを持って、考動できる生徒の育成」～笑顔で登校！笑顔で下校！～

☆令和7年度生徒会目標

「明澄」 親交を深め、笑顔輝く佐中へ

祝！第79回入学式



多くのご来賓の皆様や保護者の方々をお招きして、厳粛な中に入学式を行うことができました。45人の新入生は、期待を胸に、立派な態度で参加していました。本年度の佐敷中学校は、2年生47人、3年生57人、合計149人でスタートしました。校長式辞では、新入生に大切にしてほしいこととして、「校訓」「学校教育目標」「生徒会目標」の3点を伝えました。上級生の姿や態度及び授業をはじめとする様々な学校生活場面から、学び吸収して、佐中生としての自覚を高めていくことを期待しています。



<情報安全親子講座 4/24>

授業参観にあわせて、芦北警察署から 野田 生活安全係長 様 を講師にお招きし、「SNSの適切な利用、闇バイトは犯罪である、家庭におけるスマホルールづくり 等」について親子で学ぶことができました。トラブルに巻き込まないよう、上手に活用していきましょう！



☆職員紹介

令和7年度は、定期異動により9人が転入し、26人の職員で生徒のより良い成長を支援して参ります。他にも、ALT、SC・SSW等の専門家も配置されていますので、力を合わせて、生徒や保護者の皆様の悩みや不安解消等を全力でサポートしていきます。

よろしくお願ひします。



<芦北町家庭教育支援員> 浅野 直子(あさの なおこ)さん

佐敷中校区(佐敷小・大野小・佐敷中)を担当されます。子育てなどのお悩みや相談がある場合は、「町コミュニティーセンター:82-2213」または「佐敷中:82-2107」へお電話願います。



<学校教育目標にキャッチフレーズ「笑顔で登校！笑顔で下校！』設定>

家庭教育と学校教育の役割と責任のもと、共に手を携えて、同じ方向を向いて、お子様の未来のために今できることを精一杯取り組んでいきましょう、という意図で設定しました。

順番が前後しますが、「笑顔で下校」は、学校の役割です。学校生活の中で、「今日は、授業が分かった。課題を提出できた。友達と仲良く過ごせた。」というポジティブな振り返りがあるときは、「笑顔で下校」できます。しかしながら、そうでない場面もあります。歯を食いしばって努力する時間や自分のいたらなさを自覚する場面、友達との関係に不安を持ったり、自分自身のことで悩んだりすることもあるでしょう。そんな時は、先生方が関わります。学校生活のことは学校で整え、その日のうちの解決をめざして(やむを得ずしばらく時間がかかることもあります)、「笑顔で下校」できるように関わり続けます。

続けて、「笑顔で登校」は、各ご家庭の役割です。各ご家庭には、様々なお考えやご事情等もおありと存じますが、生徒が登校の際はどうぞお互いに笑顔で送り出してくださいますようお願いします。

「学校が楽しい、友達や先生に会いたい、一緒に活動したい」という生徒が100%になることをめざして教育活動を充実して参ります。よろしくお願いします。

<「通級指導教室」設置> ※4／24 PTA 総会でお知らせした内容です。

令和7年4月、芦北町には、佐敷小学校に巡回型の「通級指導教室」ができました。

「通級指導教室」とは、通常の学級に籍を置いて、「学習や生活上の困り感」の克服・改善に向けた、特別な学びが受けられる場になります。具体的には、週に1・2時間、その生徒の力を伸ばす「自立活動」という学習やトレーニングを行います。各教科の勉強が苦手な生徒が参加する場ではありません。勉強の補習をするところでもありません。ただ、自分の力を伸ばすために、勉強のやり方を学ぶ場面をとおして活動することはあるかもしれません。正しい認識をお願いします。

本校は、巡回校として、佐敷小学校在籍の「上河 千晶先生」が週1日程度来校し、「被服室」をメインの教室にて支援・指導をしてもらう予定です。

通級指導教室について、お尋ねになりたいことやご相談がある場合は、本校特別支援教育コーディネーターの生田や教頭の米にご相談ください。